

姫路海軍航空隊所属の特攻戦死した祖父の弟のこと

佐藤俊彬（祖父から聞いた話）

祖父が生前よく話をしてくれていました。

ヒメ 314 の電信員佐藤志郎（第一護皇白鷺隊隊員）は祖父雪雄の弟で、特攻隊へ行って戦死したんだという話です。

今でも残っているか分かりませんが、祖父と志郎くんがやりとりしていた手紙も昔見せてもらったことがありました。

上官にチェックされるので、古文みたいなことしか書かれていなくて、子どもだった自分には何が何だかといった感じでした。

志郎くんの出撃が決まり、祖父と祖母が汽車に乗って姫路海軍航空隊へ急いで向かったのですが、すでに部隊が九州へ移動していて、結局会えないままになってしまったと、ずっと話していたのが思い出に残っています。きっと仲の良い兄弟だったのだろうなと思いました。

どの機体に乗っていたのかもよく分からないままでしたが、今日来館して「ヒメ 314」の九七式だったのかということが分かり、良かったです。

「ヒメ 314」がどのような最期だったのかは分かりませんが、「ワレ突撃ス」の言葉を発したのは電信員である志郎くんだったのかと…。少し悲しい気持ちになりましたが、戦友にもめぐまれ、短いながらも充実した人生であったと信じたいです。色んな人にここを訪れてほしいですね。